

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷場東小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の国語の知識・技能に関する領域において、R4年度の自校の結果より1pt向上させる。	⇒ 「スタディサプリ」や「ドリルパーク」などを活用し、繰り返し問題に取り組むことで、基礎学力を確実に身に付ける指導を行う。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査の国語において「思考・判断・表現」を昨年度の自校結果より1pt上げる。	⇒ 国語の人物像や物語の全体像を具体的に想像する問題に課題があるため、読む活動などを通して具体的に想像する時間を意図的につくる。また、読書の習慣を身に付けさせるため、多くの本と触れ合う時間を設ける。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答で95%以上を目指す。	⇒ 授業において、児童とともに必要感のある課題を設定したり、児童が問題を見いだしたりして、児童が主体的に課題を解決する場を設定する。また、授業中に必ず自己の振り返りができる時間を設定する。

次年度に向けて
(3月)

<小6・中3> (4月～5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

結果提供(7月)
調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	算数の「図形」の領域において、面積を求める公式を覚える学習にとどまらず、その特徴を考えたり説明したりする活動を重視する。	⇒ 全国学力・学習状況調査の結果から、算数の「図形」の領域に課題がみられたため、面積を求める公式を覚えるだけでなく、特徴を考えたり説明したりする活動を多く設定する。
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし